

3ゼミ生

品川歩澄

私は3ゼミの授業を受けるまで、画家の技法や絵画史の流れしか勉強したことがありませんでした。そのため、この授業を通して、印象派の画家の描き方や表現方法に対する挑戦や興味・関心を学ぶことができ楽しかったです。

クロード・モネは、水面の中に自由な描き方を見出したことで、徐々に水面の世界だけを描くようになって、時代の流れに沿って勉強できたため、表現の変化がわかりやすかったです。

個人的には、エドガー・ドガの緊張状態にある女性を描く絵が好きでした。歌う女性の絵では、ライトによって普段とは異なるコントラストで描かれることで、少し不気味な緊張感が伝わってきて面白いなと思いました。

私は今まで、落ち着いた印象派の絵画が好きでしたが、3ゼミを通して、少し好みが変わったので4ゼミでもっと新しいことを学んでいきたいと思います。

1年間ありがとうございました。

4ゼミでもよろしく願います。

倉澤美咲

今までばく然と美しいな、としか思っただけで見ていなかったのですが、今回のゼミで画家の作品に対する視線、描き方(ドガの特質的な描き方)に注目することで、作品のつながりやその描き方の裏にある画家の意図を理解することができました。

モネに関しても、光と水、特に水面にスポットを当てて比較することで、印象派の本質を学ぶことができました(これまではおおまかなことしか学んでこなかったもので…)。

最近の授業で印象派の前後の画家とのつながりや今回のルネサンス的空間等の一見関係がなさそうな所にも関係性を見出す、発見することができたこともおもしろかったです。

個人的にですが、みんなの発表を聞くのがとても良かったです。自分の持っていない視点で絵画を見ていたので良い刺激になりました。そして先生からのアドバイスもありがたかったです。先生は春学期レポートを出す際自分の評価は厳しいことを言うかも、と仰っていたので正直とても怖かったです。ですがいざレポートが返されるとおそまつな私のレポートの中にも良かった点を見つけてくれて、その上でダメ

出しをしてくれたことが本当にうれしかったです。単にダメ出しをされただけではやる気が下がってしまうので、両方仰ってくれて、私にとってさらにやる気に繋がりました。ありがとうございます。

4 ゼミ生

下道 梨乃

絵画を観ながら、文献を訳し、それがどういった絵画であるのか、またその絵画がどの点に注意しながら描かれていたのか、分析し、自分なりに考えながら進んでいくゼミはとてもためになりました。本文を訳すのは、少し大変ではありましたが、どの日本語を当てはめたら綺麗な文になるのか考えること、また難しい言葉は先生の解説などが加わり、わかりやすくゼミが進んでいったので、楽しかったです。

レポートに関しても、授業内で進めた内容から考えて書くことを重視し、さらに自分オリジナルで絵画を見ていく力が養われました。授業で培った見る力が卒論でも生かされ、絵画を観る際に詳細に観て、考える力が発揮できたと感じています。卒論の際は少し道に迷ったときもありましたが、先生の適切なアドバイスがあったからこそ、自分の好きな絵画を自分にしか書くことが出来ない言葉で書けたと感じています。

廣木結衣

私は4年次の秋頃まで卒論で扱いたいテーマが定まっていませんでした。パリの美術館に行った際、多くの絵画を目にし興味を持ったことで湯沢先生のゼミに入ったものの、卒論のテーマとして絵画を扱うほどの知識もモチベーションもありませんでした。そんな時、女性雑誌のパリ特集を扱ってみてはどうかと提案をしていただきました。それ以降は、卒論に対して楽しみながら向き合うことができました。

面談の機会も多く、私の趣味や好きな分野を生かすような提案をしていただくなど、一人一人と向き合ってくれる先生であると感じました。迷走していた私に助け舟を出していただいたこと、とても感謝しています。今までご指導ありがとうございます。

北川暖那

私は4ゼミの1年間を通して、絵画の見方、楽しみ方を知りました。絵画は、誰の作品なのか、作家のプロフィールを調べただけでは十分に鑑賞したとはいえません。自分だけの視点での自由な発想が必要なのです。授業で取り上げた「モネをめぐるゴッホとシニャックに聞く」という、モネの作品について私たちがゴッホとシニャックにインタビューしてそれをレポートにまとめるという課題は、特に面白かったです。授業中に生徒のレポート順に読み上げましたが、同じ課題でこれほどにも違うのかというほど、一人一人異なる視点で、ユニークに仕上げられており、こんなに楽しみながら自由にやっていたんだと思えた瞬間であると同時に、こんな見方もあるのか、と感動したことを覚えています。

私は、卒論を書く上で何を取り扱うか、11月になって急遽変更したり苦労しましたが、クリスマスイヴの日にも、親身に相談に乗ってくださり、本当に有り難かったです。どのように構成を考えたら良いのか、どのようにみていくのが面白いのか、アドバイスを頂き、一度それに従ってみると、自分の中でも新たな疑問や関心が生まれ、楽しみながら取り組むことができました。講義、卒論制作を通して、絵画作品の面白さを教えて頂き、今では3ゼミから教えて頂けてたらな、もう少しお話聞いてみたかったな、、という残念さも少しありますが、、。

親身に相談に乗ってくださった湯沢先生にはとても感謝しています。ありがとうございました。